

平成29年度 英語教育強化推進事業

外部専門機関と連携した英語指導力向上事業

研修協力校

幸手市立権現堂川小学校 吉田小学校 八代小学校 東中学校

事業の目的

英語によるコミュニケーション能力を確実に養い、グローバル化に対応した人材の育成を強化するため、外部専門機関と連携した効果的な研修を通して、英語教員の指導力向上を図る。

具体的な取組

➢ALT との連携のあり方の改善（ALT の研修と活用）

本時の目標を達成するため、英語での思考力を高めるactivityを準備する。

特に、ALTが入る時間には、チームティーチングでの授業の利点を生かす。

➢ICTの活用

視聴覚教材を用いて実際のコミュニケーションのモデルを示すことで、児童の理解を促す。またコミュニケーションの動きを意識することができるため、児童の興味・関心を高めることに有効である。

➢小中連携、小小連携

「東中学校区の3小学校とも6学年1学級」の利点を生かす。

(1)教員の派遣

(2)児童生徒の交流

(3)指導内容・方法の連携⇒英語授業5ポイントカード

自己評価カード

各種ワークシートの共有など

授業実践



ALTも活動に加わり、英語を使って子供たちとつながる



英語教諭はもとより、生徒がすべて英語で話す授業をめざす

大学教授による指導



東京家政大学 太田 洋先生による講義
「小学校英語の授業づくりのポイント
—小中連携を踏まえて—」



埼玉大学 及川 賢先生による
研究授業の指導・助言